



神鍼会会報

神奈川県鍼灸師会会報 104号 ～全国大会特集号～

目次

1. 巻頭言 会長 清水 慎司 02
2. 第11回日本鍼灸師会全国大会 in 神奈川開催について . . . 副会長 日野 博 03
3. 基調講演「スポーツと自律神経」 保険副部長 榊原 範匡 04
4. 県民公開講座『活力の正体は自律神経!?!』を聴講して . . 横浜市 石田 智子 05
5. 経営講座「業者から見た鍼灸院～ここを変えればもっと成功する～」ご報告
. 会長 清水 慎司 05
6. 実技供覧「経絡治療」岡田明三先生 小田原市 金子 太也 06
7. 『YNSA「山本式新頭鍼療法」の実際』開催後記 . . . 学術部員 藤田 洋輔 07
8. 『実技供覧・中医鍼灸の弁証論治』を受講して 逗子市 森下 元 07
9. 実技供覧「トリガーポイント」伊藤和憲先生 横浜市 鷺田 伸二 08
10. 実技供覧「美容鍼灸」を終えて 横浜市 森谷 恵子 08
11. これからの注目鍼灸「不妊症に対する治療」を聴講して 川崎市 小宮 猛史 09
12. 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けてー我々鍼灸師が
できること・なすべきことー」を受講して 学術副部長 窪田 勤 10
13. 「災害医療における鍼灸師の役割とは」を受講して . . . 横浜市 石川 家明 11
14. 青年委員会講座 演題「ニキビに対する鍼灸美容」 . 保険副部長 榊原 範匡 11
15. 「祝賀会」ご報告 広報普及部長 江波戸 雄一 12
16. 理事会報告 13
17. 保険部からのお知らせ 保険部長 服部 政博 13

巻頭言

会長 清水 慎司

2015年の日本鍼灸師会全国大会が神奈川で開催されることが決定したのは、2013年の11月でした。協力していただける先生はいらっしゃるのか？開催場所はどこにするのか？そもそも開催はできるのだろうか？など、色々な不安が頭をよぎる決定でした。以来、約2年間準備をしてまいりました。

準備より携わった日野実行委員長をはじめ、千葉先生、服部先生、石田先生、秦先生など多くの先生が時間や労力を費やし、家族や仕事も犠牲にし、交通費も自前という本当にボランティアでの活動で協力していただきました。

そして本年3月には横浜マラソンが開催され、当会は神奈川県鍼灸マッサージ師会や日本指圧師会など、他の業団とも

連携しながら、鍼灸ケアボランティアスタッフとして初めて参加いたしました。また8月には関東ブロック会議の担当師会として開催に奔走しました。そんな忙しく目まぐるしい中での全国大会の開催で、理事役員だけでなく会員にも多大な負担を強いた年でした。

この目まぐるしく走り回った全国大会ですが、有難いことに「とてもよかった」という評価をいただいております。しかしながら、わたしとしては納得のいくものではなく、色々な面でもっとよくできたのではないかと反省しています。例えば、予想していたよりも受講者が多すぎて、場内に入り切れない講演があり、もっと大きな会場を選定すればよかったなど、挙げればきりがありません。ご迷惑



実行委員全員での記念撮影

をおかけした参加者の先生方、本当に申し訳ありませんでした。

日本人は控えめでアピールが苦手と評されます。鍼灸は医療であり、きちんとした治療をしていけばいいという考え方もあります。患者さんと向き合い、心と技術で信頼を得て仕事にしていくことが根本であり、これからも変わることはないでしょう。しかし時代は変化しています。こちらからの発信やアプローチが必要不可欠な時代になりました。日本医師会は国会に議員を送り出し、テレビをはじめメディアにもアピールをおこなっています。鍼灸師にもそういったことが必要になってきているのではないでしょ

うか？待つのではなく、自ら発信をしていくこと。また一人では相手にされないことも自覚して、団体に動いていく必要があるでしょう。そのための師会の活動だと思っています。全国大会もその一環だったのではないのでしょうか。今回多くの会員が実行委員として協力してくれたことは、我々鍼灸師にとって大きな意味があったと考えています。本当にうれしかったです。お疲れ様でした。

最後になりますが、協力してくださった日本鍼灸師会の先生方、関東ブロックの先生方、キューアイ・マネージ様、そして当会の先生方、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

第11回日本鍼灸師会全国大会 in 神奈川開催について

第11回公益社団法人日本鍼灸師会全国大会実行委員長
公益社団法人神奈川県鍼灸師会副会長 日野 博

第11回公益社団法人日本鍼灸師会全国大会 in 神奈川が、平成27年10月31日（土）・11月1日（日）の2日間にわたり、みなとみらい・パシフィコ横浜で開催されました。

この度の全国大会は、公益社団法人日本鍼灸師会の創立65周年記念式典と記念祝賀会を同時開催するという過去には経験のない形の記念大会となりましたので、それに相応しい神奈川を代表する都市「みなとみらい横浜」を開催会場として企画いたしました。

メインテーマを「鍼灸の今がわかる！」と題し、人気治療から経営まで幅広いジャンルで鍼灸の現状をお伝えするという主旨のもと、基調講演、県民公開講座

をはじめ、各講座には医療の最先端の場で活躍されている素晴らしい先生方をお迎えいたしました。

大会参加条件については、従来からの学生団体枠以外に、本大会に後援をいただいた団体を対象とした特別枠を設け、



お疲れ様でした

幅広く参加を募集したところ、837名（会員495名、一般・教員47名、学生331名）の参加申込がありました。

祝賀会は、港町横浜の夜景を楽しんでいただけるように横浜港ナイトクルーズを企画し、201名の参加申込がありました。雨こそ降りませんでしたが、少し風が強くて寒かったです。夜景は予想どおりきれいでした。

本大会の開催が決まってから大会当日まで、実行委員のメンバーには本当にお世話になりました。自分の仕事の合間を利用して、また仕事や家族との大切な時間を犠牲にして大会準備にご協力いただきました。ありがとうございました。

機会がありましたら、また同じメンバーで何か企画していきたいと思っています。

基調講演「スポーツと自律神経」

保険副部長 榊原 範匡

全国大会1日目、メインホールにて小林弘幸先生の「スポーツと自律神経」の講演がありました。始めに自律神経の働き、重要性、免疫力と関わりなどを説明されました。現代の人たちは交感神経優位な状態が多くバランスの取れている状態は少ない、怒るなど恐怖心を与えるなどのストレスは特にバランスを崩す、逆にほめるなどは自律神経のバランスを整え副交感神経を優位にさせるという。自律神経は血流も司り、免疫力にも作用し、様々な臓器にも影響を与える。またジェラシー、嫉妬はアルツハイマーや認知症



講演中の小林先生

になる率を上げるとのこと。

スポーツの分野でも自律神経のバランスにより成績が左右されるため、バランスを整えるトレーニングが取り込まれているようだ。有名な石川遼選手はもともと副交感神経が優位とすることで、交感神経活動を優位にさせるトレーニングを行っているそうです。自律神経トレーニングとしてヨガ、ピラティス、座禅などが有効であり、セル・エクササイズというストレッチとは少し異なるストレッチを紹介されました。

鍼灸の分野についても医師、看護師を対象に、手に鍼を刺入して自律神経のバランスを調べた結果、副交感神経が優位になるという結果が得られたそうです。そうならなかった対象者は当直で不眠であったとのこと。寝ずに鍼治療を受けるのはよくないとも言われていました。

先生は最後に「全ては謙虚さが不可能を可能にする。」「決してけなさず、ほめること」と言われていました。

県民公開講座『活力の正体は自律神経!?!』を聴講して

横浜市 石田 智子

今大会の公開講座「活力の正体は自律神経!?!」は、北関東循環器病院院長にしてドイツ・ボッフム大学永代教授の南和友氏によるものでした。

人間の身体は、正常な循環器の働きなしには機能できない。身体の血流は自律神経の働きによって大きくコントロールされている。一般に自律神経は鍛えることができないと考えられているが、実は地道な努力で鍛えられるものだという。たとえば適度な仕事や運動は交感神経が、美しい景色や感動する場面に遭遇すれば副交感神経が刺激される。そのような刺激を受ける機会を増やしていけば自

律神経は鍛えられる。足腰が悪くなれば運動もできなくなり自律神経を鍛えることができなくなり活力は失われていく。ゆえに鍼灸は身体の血流を良くして、自律神経の働きを活性化するのに効果的であると聴衆に訴えた。

また「日々、情熱を失わない!!」という基本的なスタンスを持つことが大切であり、自律神経の活性化につながるのとことであった。



講演中の南先生

経営講座「業者から見た鍼灸院 ～ここを変えればもっと成功する～」ご報告

会長 清水 慎司

全国大会 2 日目に行われた『経営講座』について以下にご報告いたします。

経営・施術・コミュニケーションの3つのカテゴリーに分け、日頃から多くの鍼灸院を訪れている業者さんにご登壇いただき、生の声をお聞きするという初めての試みでしたが、大変有意義なシンポジウムにすることが出来ました。

座長：清水 慎司

公益社団法人神奈川県鍼灸師会 会長
司会兼シンポジスト：川端 香織
株式会社スカイアジア 教育部 部長
シンポジスト：原 浩一
株式会社カナケン 本社営業部 部長

シンポジスト：八木 賢訓

セイリン株式会社 国内営業部

東日本営業統括

(敬称略)

1) 経営

治療院経営に当たり「事業計画書」を策定することは最低条件である。何のためにこの事業（仕事）を行うかコンセプトを固め、短期・中期の計画を立て、数



講演の様子

字を見ることで現状と将来（目標）を明確に分析することが出来るようになる。「身近なところで開業支援を行っているので是非相談していただきたい」と原、八木両シンポジストからご意見を頂きました。

2) 施術

流行に流されるのではなく、自分自身の技術の深化を追求する必要がある。その上で社会の医療環境の変化に敏感になり、治療スタイルを構築することが出来る。従来の徒弟制度が無くなりつつある今、新卒者には卒後教育が重要である。新卒者は就業条件だけに目を奪われることなく、治療院や指導者を選んで欲しい。

また先輩鍼灸師にもその環境づくりを期待する。

3) コミュニケーション

治療院経営において、地域社会・患者・業者などとのコミュニケーションは重要である。コミュニケーションとは双方向の情報伝達能力である。伝えること、聞いて理解することの重要性を認識すべきである。相手の間やトーンで解りやすい言語で会話をする。特に、他職種との連携を深めるために、共通言語でのコミュニケーションは今後重要となる。

学校で学ぶ機会の少ないコミュニケーションやマナーについても、今後は神鍼会でも教育機会をご提供して行きたい。

実技供覧「経絡治療」岡田明三先生

小田原市 金子 太也

経絡治療は随証療法である。診察には四診を用い、診断は証の「虚实」でたて、治療は虚实の補瀉で行う。経絡（気血）の変動は五行要穴の補瀉で整える。陰病陽治・陽病陰治が大切で、本治法・標治法ともに証に従って治療を行う。脈・腹・四肢や背部などから証を導く。鍼は銀鍼を使用。置鍼15分の間、声をかけないことで自律神経系にとってもよく効く。

治療体系の元になる考え方を実技に合わせて具体例をあげながら分かりやすく説明頂き、患者さんに鍼灸を施す上での治療家としての心構えや、姿勢の大切さについてもお話し頂いた。鍼の治療には感性が大きく係わっており、毎日の立ち

居振る舞いが鍼に現れる。本物に触れ、良い物を長く大切に使うことが感性を養う。

日々の姿勢を見直すきっかけとなり、即治療に生かせる実用的な内容が詰まった貴重な実技供覧であった。



実技を披露する岡田先生

『YNSA「山本式新頭鍼療法」の実際』開催後記

学術部員 藤田 洋輔

今回の全国大会1日目にて、徐大恆先生、徐園子先生をお呼びし、山元式新頭鍼療法(YNSA)の実際について講義していただきました。

近年、YNSAは医師の間でも注目されている鍼灸療法ということもあり、130名もの聴講者が訪れました。YNSAは診断から治療までが分かりやすく、また再現性の高い鍼灸療法ということ、徐先生ご夫妻は実技も混ぜ、非常に分かりやすく解説してくださいました。またお二人は講習会終了後も、参加者の質問に対して、手取り足取り熱心にご指導されて

いました。お二人のこの治療法に掛ける意気込みが伝わってきました。今回参加が叶わなかった方も是非勉強されてみてください。



講演後の徐先生

『実技供覧・中医鍼灸の弁証論治』を受講して

逗子市 森下 元

演者は東京中医鍼灸センター院長・浅川要先生です。先生は四診の中でも舌・脈診を中心とされているそうです。

興味深かったのは補法は手前に、瀉法は向こう側に向かって打つということで、ベッドの反対側に移動して刺鍼しておられました。

講義終盤にビデオカメラの具合が悪くなり、画面がぶれて見にくくなったのは残念でしたが、ご講演後、学生さん達の希望に気持ちよく、その手技を見せてくださいました。私も拝見することができ、幸運でした。



問診中の浅川先生(右)

ちなみに、当日の助手役は私の治療院で長年勉強した後、先生の元で研鑽を積んでいる人でした。先生のご配慮に感謝申し上げます。

温かいお人柄が、その鍼先にも現れておりました。

実技供覧「トリガーポイント」伊藤和憲先生

横浜市 鷺田 伸二

「実技供覧」ということで、どんな技術の粋を見せて下さるのだろうか？という



講演中の伊藤先生

期待がよい意味で裏切られました。まず、どんな場合に適しているのか？から始まり、痛みのメカニズム、問診から治療に至るまでのそれぞれ

でポイントとなる事柄、東洋医学的アプローチではないのに脈や舌を確認する理由等々、短い時間に臨床のコツが濃縮された素晴らしいご講演でした。鍼灸治療全般に当てはまるポイントを惜しげなく披露してくださり、大変勉強になりました。また自分の課題点も認識でき、今大会には短い時間しか参加できませんでしたが非常に有意義なものとなりました。

実技供覧「美容鍼灸」を終えて

横浜市 森谷 恵子

この度は日本鍼灸師会 全国大会を地元、神奈川で開催するとの事で、かねてから依頼のありました「美容鍼灸」を、実技を交えながら紹介をさせて頂きました。しかし私自身もともと鍼灸師から出発した経歴ではなく、美容師、化粧品会社のインストラクター、そしてエステティシャンからの流れで美容をテーマに、かれこれ40年の間女性の美を探求しつつ現在に至っており、部外者のような私が鍼灸師の皆様の実技を披露するなど恐れ多いと感じるところがありました。

ところで現在の美容鍼灸の流れを見ると、鍼の分野だけがクローズアップされ、灸が置いてきぼりをされているように日々感じておりました。従いまして全国の鍼灸師の方々に「灸が美容にこれだけ効果を現す」という実証をご覧頂くチャンスに恵まれ喜ばしいことでありました。ただとても残念なことは、会場で火を使えないとの事情で、その場での効

果をお見せすることができなかった事です。また一般の方にも「灸をすえる」という言葉が示すように、灸に対してはマイナスイメージがあるように感じております。少なくとも当院にいらして頂き施術を受けて頂いた患者様は、灸のイメージが「熱い」、「跡が残る」などから変わったと言われます。その点からも鍼と灸の相乗効果の増強を図れるのではと考えております。

また患者様は、美容は顔だけと認識している方が多く、体調が皮膚に影響しているとは考えにくいようです。今後の美容鍼灸は、全身治療を含めたアプローチが必要ではないかと感じております。



皮膚について説明する筆者

これからの注目鍼灸「不妊症に対する治療」を聴講して

川崎市 小宮 猛史

近年、医療機関での高度生殖医療による不妊治療が増加の一途をたどる一方、鍼灸治療の併用を希望する患者さんも増えてまいりました。この度、本テーマの講師を快諾してくださった「せりえ鍼灸室」小井土善彦先生、辻内敬子先生は、開業以来不妊治療はもちろん、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援をモットーに患者さんを診つづけておられます。不妊の原因が実は女性も男性もほぼ同じくらいの割合である中、今回は女性側の不妊についてお話をいただきました。

前半、小井土先生からは、不妊治療に関わる生殖医療のチームの一員として、医師やその他の医療者と連携を図るために

必要な専門知識や用語、日本の不妊治療の現状や鍼灸師の役割、心構え、気をつけなければならないことなどをお話いただきました。施術においては、「中髎穴刺鍼や陰部神経パルス通電による子宮内膜や卵巣機能の改善の研究」に注目しつつも、東洋医学が得意とする「全体を見る治療」によって免疫系や自律神経系、ホルモン系、情動系などに働きかけて「森の状態をよくする」方向に持っていくことが代替医療の補完性という意味からもとても大切であるというお話をされました。

そして後半の辻内先生からは「臨床編」として四診を中心に、特に患者さんの月経にまつわる細かい問診や基礎体温表から得られたデータがそれぞれ何を意味し、どう考えるのかを具体的にご説明されました。また施術においては「現代医学的な考え方による鍼灸治療」と「東洋医学的な考え方による鍼灸治療」の両方のご紹介とともに、治療後の評価の目安まで詳しくお話くださいました。

お二方の奥深い見識と臨床対応を伺い、不妊治療はもとより、心や身体に不安を抱えて来院された方々に対し、責任感を持って、継続した学と術の研鑽を積むとともに、患者さんに寄り添い安心感を与えてあげられる臨床を行わなければ！と、改めて思いを強くもちました。



左から辻内先生、司会の柳原先生、小井土先生

「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて —我々鍼灸師ができること・なすべきこと—」を受講して

学術副部長 窪田 勤

まず講師の中森康弘氏（JOC 東京2020 開催準備室室長）から、五輪ロゴの歴史や招致戦略の苦勞を2016年の失敗を含めてお話して頂きました。投票権を持つのはIOC 委員個人ということで、家族ぐるみのお付き合いをするなど、最後は人間関係が重要であることを話されました。またアクション&レガシープランでは、次世代に何を引き継いでいくのか地方都市に至るまで明確なビジョンとアクションを実行する予定であり、この場を鍼灸師の活動の場として利用するよう話された。

続いて古屋英治先生から、スポーツ鍼灸の歴史と、東京五輪・パラ五輪に向けて短期・中期・長期とスポーツ鍼灸をどうデザインするかが大切であること、またスポーツ鍼灸はこれまで筋骨格を主な対象としていたが、コンディション調整として、食欲、睡眠、排泄にも効果があり、競技力の向上につながることも明らか

かにされていることから、今後の目標は、スポーツに関わる時の基本事項のまとめと、エビデンスをもとにした刊行物の提供を続けることと話された。

次に井出勇先生から、昭和63年に日本鍼灸師会がスポーツ鍼灸委員会を立ち上げ、その後のスポーツ鍼灸の啓蒙普及活動について話されました。中でも長野冬季五輪、山梨県全国高校総体でのボランティア活動を通じ、両県鍼灸師会合わせて86名のスポーツ鍼灸師が誕生し現在1,634名になっていること、平成22年度からの臨床鍼灸スポーツフォーラムも毎年継続され、実践的症例報告等情報の共有化を図っていることなどの報告と、五輪に向けて医療スタッフの一員として選手村でのボランティア活動参画を考えていることを話された。

最後に、座長三浦洋先生を中心に座談会形式で五輪で何が出来るのか、日本の鍼が受け入れられるかを議論されました。その中では、「大国へのアプローチは困難であろう」、「小さな国には貢献できるのではないか」、「選手村以前の事前キャンプでも活動できるのでは」といった意見が出されました。鍼灸を通して国際貢献と普及活動が出来る国家イベントに参加しない手はないと感じました。



講師、座長を務められた先生方

「災害医療における鍼灸師の役割とは」を受講して

横浜市 石川 家明

最初に「災害時に鍼灸師に期待すること」と題し、国立病院機構災害医療センター臨床研究部長・救命救急センター長の小井土雄一氏が話された。

鍼灸治療を体験した被災者の満足度は高かったが、一方で鍼灸治療がどのようなものを認知している被災者は少なかった。鍼灸師が活躍できるためには、1) 被災者が鍼灸について理解していること。2) 医療関係者や行政官が鍼灸を理解していることの2点が必要であるとのこと。そのために平時から、住民が鍼灸を受療して、鍼灸師が地域を支える仕組みに参加して顔の見える関係でいることが大事と力説した。米国鍼灸師団体の災害時貢献事例の紹介があり、今では州から逆に出勤要請されるとのこと。関係性確立と自らの研修制度を設けたことが成功の要諦と述べた。南海トラフ地震では医師・看護師総出で間に合わず、鍼灸師の応援が必要になる。「平時にできないことは、災害時にもできない」ので、今から準備が必要であると力説していた。

次に「災害地域システムと地域包括ケ

アシステム」と題し、福島県鍼灸師会会長の中沢良平先生が話された。

地域包括ケアシステムは高齢者が対象であるかのようにだが、本来は生まれてから死ぬまでの「住まい」を中心にすえた地域が対象であると、中沢氏は述べた。地域ケア会議で集まるスタッフがそのまま災害時のスタッフとなるのである。東日本大震災で鍼灸効果の結果は出ているのだから、ソーシャルキャピタル（適訳はないが、社会の相互信頼で結びつく社会資本—石川）としての鍼灸をアピールすべきと主張した。中沢氏は福島県で行なっている事例を紹介して、各師会に早急の災害医療対策本部の設置と災害医療対策支援マニュアルの作成を呼びかけた。



質疑応答に臨む小井土先生（左）と中沢先生

青年委員会講座演題 「ニキビに対する鍼灸美容」

保険副部長 榊原 範匡

全国大会2日目、メインホールにて王財源先生による「ニキビに対する鍼灸美容」という内容での講座が行われました。冒頭でまず「本当の美とはどこからくる

のか?」「美の究極とは内面からいかにきれいにするのか?」「人間の本当の美しさとは?」と話されました。

単純に顔に鍼を打つ、だけではなく伝

統医学を根幹とした心身の両面より改善を目的とするのが鍼灸であると話されました。先生はニキビに対して、美容としては診ていない、局所ではなく全体的な



講演中の王先生

治療をすべきと強く言われていた。

黄帝内経（素問、靈樞、難経）の美に対しての記載はないが、美に対しての結び付きを見るとの事でした。基本は瘀血、熱を取り除き気血の巡りをよくさせることなど、具体的な配穴、どの証に対しても共通して使われる重要なツボについても説明されていました

先生の治療方針としては3回全身の治療をして、以降顔面部の局所的な治療をされるそうです。時間の関係上全身治療は実技としてはできませんでしたが、顔面部の刺鍼法として押手刺入法を実際に行っていただきました。

「祝賀会」ご報告

広報普及部長 江波戸 雄一

今大会の祝賀会は、かのマリーヌルー ジュ号を借り切ったの横浜港ディナークルーズでした。大会参加者や来賓の方々合わせて参加申込は201名となり、船内は多少窮屈なくらいでしたが、豪華な食事とお酒の力も借り、約2時間の大変盛況な会となりました。



美味しゅうございました

会の最中には、相馬悦孝先生による杉山和一資料館建設のための募金も行われ、皆さま気前よくお札を募金箱に収められていました。

前日までとは打って変わって肌寒い風の中、受付作業をされた先生方、本当にお疲れ様でした。



先人へのお礼を込めて募金です

平成 27 年度理事会報告（抜粋）

第 1 回 平成 27 年 4 月 29 日（水・祝）

会場：事務所

- 議事 1. 平成 26 年度事業報告の件
- 議事 2. 平成 26 年度決算の件
- 議事 3. 役員選挙の件
- 議事 4. 選挙規程改正案の件
- 議事 5. 全国大会スタッフの件
- 議事 6. 会費徴収弾力化の件
- 議事 7. 特定費用準備資金保有の件

第 2 回 平成 27 年 5 月 31 日（日）

会場：神奈川県地域労働文化会館

- 議事 1. 業務執行理事及び会務調整会議

名変更の件

- 議事 2. 新理事の役職の件
- 議事 3. 全国大会の件
- 議事 4. 関東ブロック会議の件
- 議事 5. 神奈鍼との協議会の件

第 3 回 平成 27 年 9 月 6 日（日）

会場：事務所

- 議事 1. 全国大会の件
- 議事 2. 学術講習会の件（女性鍼灸師フォーラムとの共催について）
- 議事 3. 広報誌取材の件

保険部からのお知らせ

保険部長 服部 政博

【口座名義人フリガナについて】

保険者（健康保険組合）から療養費支給申請書（レセプト）の【口座名義人フリガナ】の表記が施術者により違うので統一するよう指導がありました。

口座名義人「公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 会長 清水慎司」のフリガナについて、団体長委任の請求につきましては下記の通り統一いたします。

「シャ）カナガワケンシンキュウシカイ」

次回の請求から徹底をお願いいたします。

【保険取扱い初心者講習会】

平成 27 年 2 月頃開催予定。場所・時間につきましては後日お知らせします。

【第 2 回療養費適正運用研修会】

平成 27 年 3 月 27 日（日）開催予定。場所・時間につきましては後日お知らせします。

編集後記

全国大会の特集号とさせていただきます本会報、いかがだったでしょうか？横浜マラソンでのボランティア活動など、今年度の活動はいくつか残っていますが「全国大会の記事のみで十分なボリュームになるだろう」と判断させていただきました。寄稿していただいた先生方、制作にご協力いただきました株式会社キューアイ・マネージの石井様、本当にありがとうございました。

ところで先日ロンドンとリバプールに行ってきたのですが、街中で病院は何件か見かけたのですが、鍼灸やマッサージを行うようなお店は 1 軒しか見ませんでした。基本的にイギリスでは医療費は無料で、病院はどこも込み合っているようですが、一方で 7 割程度の

成人が「自分は健康である」と自己申告しているそうなので（日本は 3 割前後）、日本ほど「手当て」を必要としている方は多くないのかもしれませんが。単に私が見つけれなかっただけかもしれませんが…。 (E)

発行所：公益社団法人 神奈川県鍼灸師会

〒231-0002

横浜市中区海岸通 4-21 倉田ビル 5F

TEL：045-228-8946

FAX：045-228-8979

e-mail：shinshinkai@iaa.itkeeper.ne.jp

URL：http://kanagawa.harikyuu.or.jp/

発行者：清水 慎司（会長）

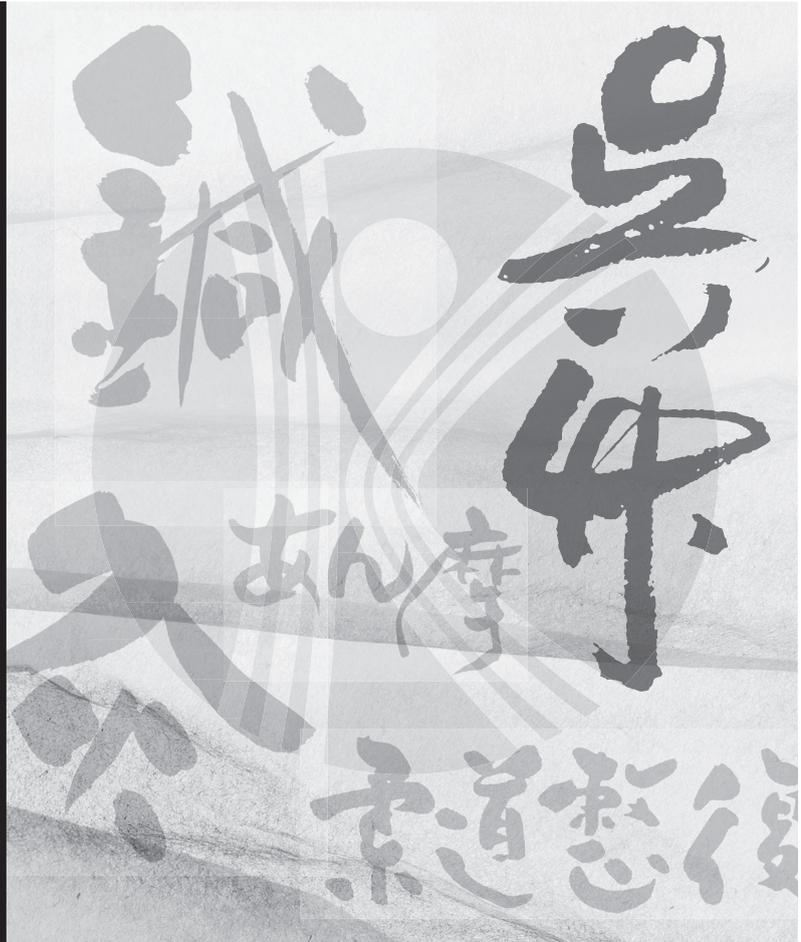
編集責任者：江波戸 雄一（広報・普及部長）

制作・印刷：（株）キューアイ・マネージ

発行日：平成 28 年 3 月 30 日

伝統と歴史を刻み、 進化する未来へ。

呉竹学園は、
今までも、これからも、
時代に適応した人材を育成し、
社会に貢献する努力を続けます。



<http://www.kuretake.ac.jp/>

東京医療専門学校

〒160-0008 東京都新宿区三栄町3

TEL:03-3341-4043

伝統医療と現代理論の融合。

東京医療専門学校は、十分な知識・技術を持った上で
柔軟な思考のできる懐の深い医療人の育成を目指します。



呉竹鍼灸柔整専門学校

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-24

TEL:045-471-3731

社会の信頼と尊敬を得る医療人の育成。

呉竹鍼灸柔整専門学校は、人格形成に力を注いだ教育により
社会の信頼と尊敬を得る医療人を育成します。



呉竹医療専門学校

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-185-1

TEL:048-658-0001

社会ですぐに活躍できる“あなた”になるために。

医の東西を問わず十分な知識と技術を備え、
全人的医療を施すことの出来る医療人を育成します。



ディスポ鍼

ノンシリコン製

カナケンディスポ鍼【はり皿付】

はり皿
一体型パック

1パックの内容

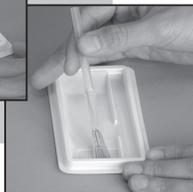
- はり皿 ×1
- 鍼 10本
- 針管 2本

受け継がれる伝統のはり

～ 松葉型鍼尖、針体の輝、ノンシリコン～



鍼を1本、1本パックから出す手間を省きました。



パックを開けて筒に入った10本鍼を、そのままトレーに出すだけ。



使いやすく患者様にもやさしいディスポの針管。

専用オリジナル針管は、肉太細軸で両端まるみ状、肌へのいたわりと使いやすさが、治療の質を高めます。



ディスポ鍼 カナケンディスポ鍼【はり皿付】

KN-138 1箱100本(10本×10パック入)

針体材質：ステンレス製
エチレンオキサイドガス滅菌済
〔クラスⅡ / 管理〕 220AGBZX00234000

長さ	5分	6分	1寸	1寸3分	1寸6分	2寸
鍼体	鍼長：15mm	鍼長：20mm	鍼長：30mm	鍼長：40mm	鍼長：50mm	鍼長：60mm
針管	鍼柄：20mm	鍼柄：20mm	鍼柄：20mm	鍼柄：20mm	鍼柄：20mm	鍼柄：20mm
径・番手						
φ0.14mm 0番	△	△	○	○	△	△
φ0.16mm 1番	○	△	○	○	○	△
φ0.18mm 2番	○	△	○	○	○	△
φ0.20mm 3番	○	△	○	○	○	△
φ0.22mm 4番	△	△	△	○	○	△
φ0.24mm 5番	△	△	△	△	○	△
φ0.30mm 8番	△	△	△	△	△	△

※ 各色の○印は常時対応品。△印は受注対応の特注品。(1,000本単位 納期約60日)

平成27年5月1日より新価格

※ 徹底した製造工程のコストダウンを実現

1箱100本入 **700**円+消費税

1,000本以上 **650**円+消費税(1箱あたり)

3,000本以上 **630**円+消費税(1箱あたり)

5,000本以上はご相談ください。

総発売元 **株式会社 カナケン**

本社：〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39
TEL_045-901-5471(代) FAX_045-902-9262
オンラインショップ <http://e-kenkou.jp/> E-mail info@kanaken.co.jp

大阪営業所：TEL_06-6935-3016(代) FAX_06-6935-3017
新潟営業所：TEL_025-286-0521(代) FAX_025-286-8870
福島営業所：TEL_024-961-7211(代) FAX_024-961-7221
仙台出張所：TEL_022-287-6273(代) FAX_022-287-6218



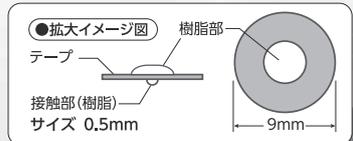
粒のちからで こりを緩和!

お疲れ気味の全ての女性に
家事に仕事にお疲れさま
あなたの毎日の疲れにピタッとひとりはり
初めての方でも簡単にお使いいただける親切設計で
ツボを優しく刺激して、こりを緩和
さあ、明日もまた頑張りましょう

今日もおつかれ、わたしのカラダ。

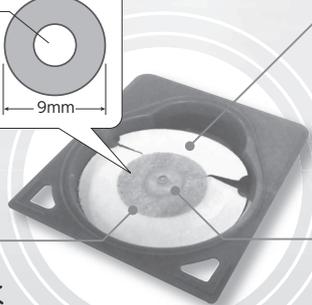


はりが苦手な方にも、抵抗なくご使用いただけます。



目立たない!

テープ径が9mmと小さいのでかぶれにくく目立ちません。



※効果には個人差があります

使い方も簡単!

シールを剥がすだけで簡単に貼れます。一枚のテープに樹脂を固定しているため、接触部が取れる心配はほとんどありません。

肌に優しい!

接触部が樹脂になり、金属アレルギーの方にもご使用いただけます。



家庭用貼付型接触粒 医療機器届出番号: 22B1X00006000005



〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町1007-1
 TEL.054-365-5700 / FAX.054-365-5139
<http://www.seirin.tv>